



- 森島秀治 (ひろしま清風会・東区)
 - ・財政
 - ・路線バス「上下分離方式」
 - ・温品・中山地区の雨水対策
- 吉瀬康平 (日本共産党・東区)
 - ・平和都市広島としての役割
 - ・中央図書館等の再整備
 - ・子育て支援
 - ・可部地区学校給食センター拡張 建替え
- 馬庭恭子 (無党派クラブ・中区)
 - ・国際平和文化都市の市長としての政治姿勢
 - ・図書館移転
 - ・内部監査(広島商工会議所への定期貸借契約)
 - ・多文化共生
 - ・新型コロナウイルス類移行後
 - ・精神保健福祉行政
- 椋木太一 (自民党・市民クラブ・安佐南区)
 - ・地域コミュニティ関連
 - ・子育て支援関連
- 石橋竜史 (自民党・保守クラブ・安佐南区)
 - ・中央図書館等の再整備
- 西田浩 (公明党・安佐北区)
 - ・こども医療費補助の所得制限撤廃
 - ・広島拘置所の外塀の壁画保存
 - ・不登校対策
 - ・安佐市民病院移転に伴う施策と今後
- 三宅朗充 (自民党・市民クラブ・安佐北区)
 - ・通学路等における交通安全対策
 - ・学校安心ルールの導入
 - ・魅力と活力ある学校づくり

市民の意見を無視するな



馬庭 恭子 無党派クラブ

中央図書館をエールエールA館に移転した場合、中古建築物という建築構造の問題、配送のための駐車場確保の問題など、数多くの課題がある。いま一度、ここで思いとどまるべきではないか。

令和5年1月の総務委員会において、中央図書館等の再整備地をエールエールA館とする「広島市立中央図書館等再整備基本計画(案)」を報告したところ、同委員会の多くの委員から「良い施設になるよう努めてほしい」、「展示スペースをしっかり確保してほしい」といったA館での再整備に賛成する意見等があったため、議会の理解を得ることができたと考えている。

システム改修に多額の費用

重度精神障害者通院医療費補助制度実施に係るシステム改修費用は、県内他市町平均が約170万円であるのに対し、本市は1億1100万円と約65倍である。この状況は、妥当と考えているのか。

本市の福祉情報システムは、昭和42年に導入後、順次各種業務の整理統合を行っており、現在は、生活保護、児童福祉などの86事業で活用する大規模システムとなっている。改修に当たり、システム設計等の大幅な改修が必要だったため、これに伴う費用が多額に生じたものと考えている。

個別避難計画の課題と実効性



椋木 太一 自民党・市民クラブ

本市における避難行動要支援者の個別避難計画を作成する上でどのような課題があるか。また、個別避難計画の実効性を確保するには避難訓練が必要だと思いが、どう考えるか。

要介護度の高い方などが、指定緊急避難場所に滞在することへの不安から避難をためらうことや、地域の方が支援者となることに重い責任を感じ、不安を訴えることがあった。作成した個別避難計画の実効性を高めるためには、要支援者が参加する避難訓練を実施することが重要であることから、避難支援を実際に行う町内会単位での訓練などを新たな補助対象とし、地域の防災力向上を図っていきたい。

空き家対策でマッチングを

地域コミュニティの拠点としての視点を立ち、空き家を地域の交流拠点として活用したい人と、空き家を提供したい人とをマッチングする仕組みについて検討してはどうか。

本市は、地域コミュニティ活性化ビジョンにおいて、おおむね小学校区を単位とした「新たな協力体制」づくりを提案し、市民主体のまちづくりを推進している。この「新たな協力体制」において、空き家情報の共有化による地域でのマッチングも期待できることから、将来的に全ての小学校区で「新たな協力体制」づくりが進むよう積極的にその支援に取り組んでいる。

世界の声にこたえる文化施設を



石橋 竜史 自民党・保守クラブ

戦後まもなく、世界の人々は広島市の復興を願うに当たり、爆心地の近くとなる都心部に、図書館をはじめとした復興のシンボルとなる文化施設の整備を求めたが、その意図は何であったと受け止めるのか。

本市は、昭和45年から、最高目標となる都市像に「国際平和文化都市」を掲げて、まちづくりを進めている。被爆後の世界各地の世論がどのような施設設置を求めるものだったか詳細は把握していないが、その思いは、廃虚と化した本市の戦災復興のまちづくりを支えようとするものであり、広島市の思いに通ずるものもあるのではないかと考えている。

中央図書館再整備の審議を尽くす

世界から広島市民に託された「平和の聖地を築く」との使命を胸に、中央図書館の駅前移転の再考を、また「さらなる審議を求め」との多くの市民の声を、本市はいかに受け止め、今後、いかに反映するのか。

中央図書館の再整備に当たっては、付帯決議に沿って、市民、議会、有識者などの関係者から広く意見を聞いた上で、広島市立図書館再整備方針を策定するなど手続きを経ることができたと考えており、今後は、市議会の了承を得て、移転整備を着実に進めていきたい。

広島拘置所外塀壁画の保存を



西田 浩 公明党

ヒロシマにとって貴重な画家であり、市民に親しまれている故入野忠芳氏が描いた広島拘置所外塀の壁画を取り壊すのは非常にもったいない。デジタル以外での保存方法も検討すべきと思うがどうか。

制作者のご遺族の要望を踏まえ、デジタル保存とする方針だったが、令和4年10月にご遺族より改めて「壁画を保存していただきたい」との要望があったことを重く受け止めて、方針転換することとしている。今後、ご遺族や保存の会からの保存方法等についての意向が固まった段階で、具体的な検討を行い、同拘置所とも協議の上、必要な対応策を講じていきたい。

安佐動物公園の再整備

世界三大珍獣の一つであるコビトカバの導入に期待が膨らむ安佐動物公園だが、再整備により、広域的な集客力の向上を含めどのような効果があると考えているか。

現在、希少動物の導入や人気動物をさらに間近で観られるよう、リニューアル中である。希少動物の繁殖に成功すれば、種の保存に貢献するとともに、赤ちゃんの公開により話題性の高い展示が可能となる。再整備を行うことで、飼育環境の改善だけでなく、来園者にとっての魅力が格段に向上し、広域的な集客力の向上に効果があると考えている。

通学路等の交通安全対策



三宅 朗充 自民党・市民クラブ

痛ましい子ども交通事故など、悲惨な交通事故の根絶に向け、通学路等への新たな取り組みが必要である。近隣地域と連携して、車両の速度を抑制する「ハンブ」の設置を希望するが、どうか。

ハンブの設置は、運転者に減速や一時停止を促すなどの効果が期待でき、歩行者を守る、より効果的な対策になる。しかし、沿道に対して、ハンブを通過する車両による騒音・振動の影響が現れることがあり、その場合は、何らかの配慮が必要となる。新設箇所周辺の住民や学校関係者などと合意形成を図った上で、県警と連携し、最高時速が30km/hに規制されている区域内へのハンブ設置に取り組みたい。

多様性に満ちた学校づくり

これからの時代、児童生徒と共同して「校則」などのルールを作る参画型の教育が必要。多様性を求める時代背景において、性別に関係なく制服を選択できるべきだが、制服の在り方について本市の考えは。

「制服」は、保護者の主体的な選定に委ねられているが、児童生徒の多様性も踏まえ、性別に関係なく選択できるようにした学校も増えており、今後も引き続き、校長会等を通じてこうした事例を周知し、積極的な取り組みを促していきたい。



用語解説

本文中に赤表記した用語を解説しています

1 改正離島振興法

離島振興法は、離島を有する地方公共団体等で、島民生活の向上等を目的とした法律の制定に対する要望が高まったことを背景として昭和28年に制定され、以降10年ごとに改正が行われてきた。この度の改正では、法期限の10年間延長に加え、離島の役割として、再生可能エネルギーの導入および活用、離島振興において「関係人口」のような島外の人材を巻き込んでいく視点が追加された。

2 付帯決議

議会または委員会における審議の対象である事件の議決に当たって、その事件について付随的に付けられる意見または要望の決議のこと。法的拘束力はないが、市長等に政治的、道義的な責務を負わせる議会・委員会の事実上の意思表示となる。

3 個別避難計画

高齢者や障害者など、災害時に自力で避難することが困難な方(避難行動要支援者)が適切な避難行動をとれるよう、「誰と」、「どこに」、「どうやって」避難するかなどを個別に記載した計画のこと。

4 ハンブ

交通安全対策のために、道路上に設けたこぶ状の部分のこと。この上を、車が速度を出して通過すると、運転者は衝撃による不快感を感じる。運転者にこの存在を事前に知らせることで、速度抑制の効果が期待できる。

※紙面の都合上、1人2問以内で掲載しています。 ※質問内容は、発言議員本人の提出によるものです。